

2024年12月24日

岡山県教育委員会
教育長 中村 正芳 様

働くルールを確立し、
就職保障と人権を守る岡山連絡会
共同代表 中島 純男
〃 岡本 芳行
〃 村田 秀石

高校・大学生、青年の雇用確保と働くルールの確立を求める要請書

平素より、若者の雇用保障と働くルールの確立にご尽力いただいていることに敬意を表します。

さて、私ども岡山就職連絡会が、県内の高等学校と特別支援学校を対象に行った10月末時点の就職内定実態調査によると、公立高校・特別支援学校で87.1(前年86.0)%、私立高校で77.5(同75.8)%という状況でした。私立高校の内定率が低いのが懸念材料ですが、全体としては前年並みの内定率となっています。

この間、企業の人手不足感が強く、新規学卒者の雇用については、全体として堅調に推移しているようですが、私どもの調査では、求人・選考内容の変更が8(同10)件報告されています。「面接の際に家族のことを聞かれた」といった気になる事例も報告されており、県内企業・経営者団体に就職活動のルール確立を働きかけていくことは、依然として重要な課題です。

貴職は2020年7月、自衛隊入隊希望者の家庭訪問を認める決定をされました。過去の行き過ぎた自衛隊の勧誘活動の反省から、個別の家庭訪問はたとえ希望がある生徒であっても認めないという方針で進めてきたことを、一方的に変更したことになっています。その後、自衛隊による家庭訪問は増加しており、昨年度は28名のべ57件とお聞きしています。このままでは、身元調査のような人権侵害につながるものが危惧されます。

つきましては、高校・大学生、青年の雇用確保と働くルールの確立のために次の事項を要請しますので、格段の努力をお願いいたします。

記

■雇用確保に関する要請事項

- 1 新規学卒者や青年の雇用確保のため、岡山労働局、岡山県と連携し、引き続き格別のとりくみをする事。
- 2 新規高卒未就職者を生まないこととともに、正規雇用の拡大に向けて、関係部署・機関との連携を図りながら就職支援事業をいっそう拡充していくこと。
- 3 必要とするすべての学校に対して、就職アドバイザーや就労支援コーディネーターを配置すること。

- 4 新卒未就職者については、関係機関と連携して引き続き就職支援策を充実させること。
- 5 県教育委員会として障害者雇用率を達成・維持すること。また、教育職員の採用試験では、身体障害、知的障害、精神障害に対応した試験に加えて、視覚障害に対応した試験や音声機器による試験を実施するなど、具体的な対策をさらにすすめること。

■働くルール確立に関する要請事項

- 1 新規学卒者が安心して働くことができるように、労働条件の明示、有給休暇の付与など労働基準法の遵守の徹底を事業主に対しておこなうよう、関係部署・機関へ働きかけること。
- 2 労働者保護法制を生徒・教職員・父母等へ周知させるため、「働く若者サポートガイド」およびその簡易版の積極的な活用をすすめること。

■就職活動のルール確立に関する要請事項

- 1 募集・選考・採用にあたっては、職業能力・適性によることとし、性別や出身校を理由とした就職に関するいっさいの差別をなくすこと。
- 2 新規高等学校卒業生の「一人一社制」を維持すること。
- 3 新規学卒者に対する求人取り消しや内定取り消しなどのルール違反がおこらないよう、必要な行政指導をおこなうこと。
- 4 自衛隊岡山地方本部による、自衛隊入隊希望者の県内高校生への個別訪問を認めたことを撤回し、一般企業と同様の対応とすること。